愛　知　県

# 地域密着型サービス自己評価票

・　指定小規模多機能型居宅介護
（指定介護予防小規模多機能型居宅介護）
・　指定認知症対応型共同生活介護
（指定介護予防認知症対応型共同生活介護）

*（よりよい事業所を目指して・・・）*

| | |
|---|---|
| 記入年月日 | 平成　　２０年　７月　２１日 |
| 事業所名 | グループハウス愛 |
| ユニット名 | Ａユニット |
| 事業所番号 | 2371501020 |
| 記入者名 | 職名　施設長　氏名　榎本雅典 |
| 連絡先電話番号 | ０５２－７７４－０１８７ |

# 自 己 評 価 票

| 項　　目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|
| **Ⅰ．理念に基づく運営** | | | | |
| **1．理念と共有** | | | | |
| 1 | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 安心・安全・安楽をモットーに、７つの項目を掲げている。理念については設立時にスタッフ間で話し合い策定した。 | ○ | 進入職員研修での重点項目 |
| 2 | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 7つの具体的項目を掲げ、スタッフルームに標示している。スタッフ会議はもちろんのこと、日常的に確認しあえるようにしている。 | ○ | 介護計画策定の根本原理となっている。 |
| 3 | ○家族や地域への理念の浸透<br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | 家族には入居時に説明し、理解してもらっている。また、玄関に標示し、来訪者の目に触れるようにしている。 | ○ | 入居希望の見学者にも説明している。 |
| **2．地域との支えあい** | | | | |
| 4 | ○隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 散歩時に「あいさつ」を交わしたり、買い物等でふれあいを持っている。 | ○ | 認知症という病気の特殊性から、「混乱」等の副作用が考えられ、あまり気軽に立ち寄って頂くという訳にはいかない部分もある。その機会をどういう機会・設定で行うかが課題となっている。 |
| 5 | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 町内会への加入。地域のイベントへの参加。施設行事への招待。町内一斉清掃等地域行事への参加。 | ○ | 地域行事は「盆踊り」等、夜間の行事が多く参加しずらい面もある。もっと地域行事に参加していきたい。 |

| 項　　目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|
| 6 | ○事業所の力を活かした地域貢献<br><br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 認知症の情報を交流会時に伝えている。 | ○ | 今後はスタッフ会議や運営推進会議での議論を踏まえ、「介護教室」等の取り組みを行っていきたい。 |
| **3．理念を実践するための制度の理解と活用** | | | | |
| 7 | ○評価の意義の理解と活用<br><br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 意識の理解はできている。改善すべき点はその都度、話し合い等を通じて改善に向け取り組んでいる。ただ、できること、できないことがあることがあり、全ての問題が改善されたというわけではない。 | ○ | 今後も評価を踏まえ、改善できるよう努力していく。 |
| 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み<br><br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 会議では報告・話し合いがなされている。管理職以外に一般職も各ユニットから参加し、会議での議論を膨張している。意見はサービス向上に役立っている。 | | |
| 9 | ○市町村との連携<br><br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 運営推進会議には市担当者は参加していない。事業運営に当たっての相談等、電話・訪問により市役所担当との連携を図っている。また、名古屋市介護サービス事業者連絡研究会（名介研）グループホーム分科会で、市担当者との交流を図っている。 | ○ | 運営推進会議への市や地域包括支援センター担当者の参加要請。 |
| 10 | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br><br>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 制度についての組織立てた取り組みはないが、管理部門での協議はなされている。また、入居者の中に「成年後見制度」を利用している方もいる。 | ○ | 職員研修・勉強会での学習機会の確保。 |
| 11 | ○虐待の防止の徹底<br><br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | 虐待の内容について、ミーティング等で触れることはあるが、組織立てた取り組みは未実施。個人で勉強する機会が多い。 | ○ | 職員研修・勉強会での学習機会の確保。 |

| 項　　目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|
| **4. 理念を実践するための体制** | | | | |
| 12 | ○契約に関する説明と納得<br><br>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 図っている。 | | |
| 13 | ○運営に関する利用者意見の反映<br><br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 日々の業務の中で、職員個々が受け止めることを初めとして、意見箱の設置、苦情受付担当者（管理者）の選任、行政関係機関の苦情窓口の標示（重要事項説明書記載）等の措置を講じ、意見の反映に努めている。 | | |
| 14 | ○家族等への報告<br><br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 面会時での近況報告、ケアプラン説明時、問題事例での家族協議等を通じて、実施している。 | | |
| 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br><br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 日々の業務の中で、職員個々が受け止めることを初めとして、意見箱の設置、苦情受付担当者（管理者）の選任、行政関係機関の苦情窓口の標示（重要事項説明書記載）等の措置を講じ、意見の反映に努めている。 | | |
| 16 | ○運営に関する職員意見の反映<br><br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 個別、会議等で機会は設けられているが、予算・人員等の関係で全てが反映されるとは限らない。 | ○ | 内容によっては早急に対応するよう検討している。 |
| 17 | ○柔軟な対応に向けた勤務調整<br><br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | 努めている。 | | |

| 項　　目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|
| 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br><br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 各ユニット間の職員異動は定期的な実施を図るようになっているが、離職者が連続すると、その対応が優先され、後回しになっている。利用者へのダメージの発生は少ない。各ユニット間を職員が利用者を伴って訪問しあっている。このため、異動があったとしても「なじみの関係」が構築されやすい。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | |
| 19 | ○職員を育てる取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 毎月の勉強会、外部での研修会などへ積極的に参加している。 | ○ | 運営規定には「在職期間による研修の実施」とあるが、具体的な研修計画が未調製。今後策定する要あり。 |
| 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br><br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 名介研グループホーム分科会幹事として、施設長が同業者との交流作りに努めている。 | ○ | 施設間交流の促進。 |
| 21 | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 休憩が取れないことがあったり、勤務の負担感があったりして、ストレスを感じている。管理者からの声掛けや職員同士の話し合いで改善の方向を探っている。 | ○ | 職員で安全対策委員会を設置しているが、ここでの取り組みを図るべきではないか。 |
| 22 | ○向上心を持って働き続けるための取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 内部・外部研修を通じ向上心を持つ機会を確保している。各自のスキルアップに対する姿勢はあり、介護福祉士・介護支援専門員への挑戦も毎年、見られている。 | | |

| 項　　目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|
| **Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援** | | | | |
| **1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応** | | | | |
| 23 | ○初期に築く本人との信頼関係<br><br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 利用希望者宅への訪問や、来所相談・見学時など、時間をかけて会話するよう努めている。 | | |
| 24 | ○初期に築く家族との信頼関係<br><br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 同　　上 | | |
| 25 | ○初期対応の見極めと支援<br><br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 本人にとって、まず「何が必要なのか」を考え、他の利用も含めた対応をしている。 | | |
| 26 | ○馴染みながらのサービス利用<br><br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 自宅を訪問したり、来所してもらったりしながら、コミュニケーションを深める努力をしている。 | ○ | まずはハウスの雰囲気に慣れてもらうことから始めている。 |
| **2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援** | | | | |
| 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 人生の先輩としてとらえて常に接しいる。生活体験の話を参考にしながら信頼関係を築いている。利用者自身ができることを引き出し、共に生活していることを実感してもらえるよう努力している。 | | |

| 項　　目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|
| 28 | ○本人を共に支えあう家族との関係<br><br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 家族の面会を多く持ってもらい話し合いの機会をつくる。その際、状況を説明し、本人の「今」を理解してもらう。 | | |
| 29 | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br><br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 年間行事を通じて家族の参加を促す。本人との「楽しみ」を共有してもらっている。 | | |
| 30 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br><br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 年賀状、暑中見舞いの交歓、施設行事の招待状の発送など、その継続に努めている。 | | |
| 31 | ○利用者同士の関係の支援<br><br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 利用者同士の関わりや支え合いが深まるよう、常に見守り、必要時には仲介している。 | ○ | 食堂・リビングでの定期的な席替え及び、対人関係に調整を要する場合の緊急的な席替え |
| 32 | ○関係を断ち切らない取り組み<br><br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 可能な限り付合いを大切にしている。 | | |

| 項　　目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|
| **Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント** | | | | |
| **1. 一人ひとりの把握** | | | | |
| 33 | ○思いや意向の把握<br><br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 会話を多く持つことにより。思いや意向の把握に努めている。困難な場合には家族の意見を参考に、本人本位に検討している、 | | |
| 34 | ○これまでの暮らしの把握<br><br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 本人から（無理な場合には家族から）十分に聴き取り、把握に努めている。 | | |
| 35 | ○暮らしの現状の把握<br><br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | 同　　上 | | |
| **2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し** | | | | |
| 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br><br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している | 各担当者がチームの意見を参考に介護計画を作成している。 | | |
| 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br><br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 原則として３ヶ月に一度の見直しをし、ニーズに合わない場合が発生したら、すぐに対応できるようにしてる。 | | |

| 項　　目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|
| 38 | ○個別の記録と実践への反映<br><br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 実施している。また、記録による情報の共有も図られている。 | | |
| **3. 多機能性を活かした柔軟な支援** | | | | |
| 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br><br>本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 事業所には訪問看護・介護・ケアマネの３部門があり、必要時には、それぞれの機能を活かした支援がなされている。 | | |
| **4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働** | | | | |
| 40 | ○地域資源との協働<br><br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 毎月の押し花教室ボランティア来訪。勉強会への消防・医療機関からの講師来演など。 | | |
| 41 | ○他のサービスの活用支援<br><br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 入院先のショーシャルワーカーとの協議、地域の他のケアマネージャー、福祉用具業者との話し合い等を行っている。 | | |
| 42 | ○地域包括支援センターとの協働<br><br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | とくに実施していない。 | | |

| 項　　目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|
| 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 定期的な往診・受診がある。異常があれば連絡し、指示に従いハウス看護師が処置を行っている。また、紹介により他科受診もある。 | | |
| 44 | ○認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 月に２回ほど往診がある。経過説明し、疑問点、変化状況などを相談したり指示を仰いだりしている。 | | |
| 45 | ○看護職との協働<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 常勤の看護師に相談しながら実施している。 | | |
| 46 | ○早期退院に向けた医療機関との協働<br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 入院中も医療機関との連絡をとっている。退院後のケアについても担当医から説明を受け、適した援助ができるよう事前に準備し、職員への情報提供を行いチームとして考えている。 | | |
| 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 入居時に家族に対して意思の確認を行い、入居後も症状の変化、予想される事柄も家族に対して機会ある毎に説明している。また、月例会議でのケース検討等を通じて職員も理解している。 | | |
| 48 | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 現在、認知症が重度化している利用者が増えており、この取り組みはとても大切なことだと思う。 | ○ | チーム間の話し合いがまだまだ不足している。掘り下げていく必要がある。 |

| 項　　目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|
| 49 | ○住み替え時の協働によるダメージの防止<br><br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 入院等の環境変化に対しては、本人の生活歴・現況・介護計画などの情報提供を行い話し合いの機会を持っている。 | | |
| **Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援**<br>**1. その人らしい暮らしの支援**<br>(1) 一人ひとりの尊重 | | | | |
| 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br><br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 言葉かけや対応には十分注意している。記録等の個人情報の取り扱いには留意している。 | | |
| 51 | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br><br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 本人が理解し納得できるよう十分に説明している。本人の意思を尊重し「無理強い」はしない。 | | |
| 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 可能な限り、本人の希望・ライフスタイルに添うよう支援している。 | | |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | |
| 53 | ○身だしなみやおしゃれの支援<br><br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容･美容は本人の望む店に行けるように努めている | 更衣時に服を見せて本人の意思確認を行っている。理容・美容は近隣の店を利用しているが、不満は聞かれない。 | ○ | 時季による衣替え等に対する家族の支援要請<br>利用者様個々に応じた理美容室利用を、職員が同行して実施している。本人の希望する店、入居前に利用していた店が遠い場合、どうしてもハウスの近くの店になってしまう。 |

| 項　　目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|
| 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br><br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 野菜を刻んだり盛りつけを担当してもらっている。食事は職員も同じテーブルでしている。片づけや食器拭きなどへの参加を声掛けしている。 | | |
| 55 | ○本人の嗜好の支援<br><br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | 各人の嗜好や季節感のある食事作りに努めている。晩酌を楽しみにしている利用者もいる。 | | |
| 56 | ○気持よい排泄の支援<br><br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | その人に応じたトイレ誘導を行っている。介護計画に基づき職員間でケアの統一性を確保している。 | | |
| 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br><br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 日曜日以外は毎日実施している。但し、冬期はは週３回を目処としている。入居者の希望に添うよう実施している。 | | |
| 58 | ○安眠や休息の支援<br><br>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 21時の消灯時間は一応の目安で、ほとんどの方が自分で決めた時に眠っている。夜間起きている利用者も。その人のペースで過ごしている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br><br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 好きなことが見つけられるように話したり、一緒にアクティビテイを行って、そこからの発見もある。家族・本人からの情報収集にも努めている。 | | |

| 項　　目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|
| 60 | ○お金の所持や使うことの支援<br><br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 管理できる人は持っているが、持つことで混乱が予想される人は持っていない。 | | |
| 61 | ○日常的な外出支援<br><br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 買い物や散歩など、天気や体調を勘案しながら、希望に添って一緒に出かけている。 | | |
| 62 | ○普段行けない場所への外出支援<br><br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 行事計画に沿い外出、外食会、花見、寺院巡りなどを季節の外出行事を行っている。家族との外食・旅行なども見られる。 | | |
| 63 | ○電話や手紙の支援<br><br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 希望に添って実施している。年賀状などはレクの一環として実施している。 | | |
| 64 | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br><br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 気軽に面会に来ている。土日祭日にとくに多い。面会簿に記載してもらっている。来訪時には職員は笑顔で迎えるようにしている。面会者と入居者・職員とのふれあいの光景はよく見られる。自室でゆっくり歓談してもらえるようお茶などを出している。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | ○身体拘束をしないケアの実践<br><br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束は行っていない。 | | |

| 項　　目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|
| 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br><br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 居室の鍵は、入居者自身の判断で入居者自身が行っている。玄関の施錠は職員が厳重に行っている。 | | |
| 67 | ○利用者の安全確認<br><br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 十分に配慮している。夜間も転倒防止のためベッド柵に鈴を付けるなどして、入居者の動きが把握できるよう努めている。 | | |
| 68 | ○注意の必要な物品の保管・管理<br><br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 薬品、刃物、潜在など保管・管理を考えて行っている。 | | |
| 69 | ○事故防止のための取り組み<br><br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 取り組んでいる。勉強会で急変時対応、救急救命の実習などを実施している。 | | |
| 70 | ○急変や事故発生時の備え<br><br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 勉強会での学習。日常的に看護師が説明している。 | | |
| 71 | ○災害対策<br><br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 消防訓練（通報、初期消火、避難誘導）を年2回実施している。消防署職員の立ち会い・指導を仰いでいる。近所の皆さんに「いざというときは協力して下さい」と日頃から声をかけている。 | | |

| 項　　目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|
| 72 | ○リスク対応に関する家族等との話し合い<br><br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている | 行っている。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 73 | ○体調変化の早期発見と対応<br><br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 毎日のバイタルチェック。入居者と接する中での観察、入浴時の皮膚状況観察など、入居者の体調変化の早期発見・対応に努めている。 | | |
| 74 | ○服薬支援<br><br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 処方箋を確認。処方箋一覧表の作成。薬についての説明書綴りの作成。服薬時も飲み込みの確認。服用の確認記録の記載。毎朝の申し送り時に変更点などを確認している。外出時には家族への申し送りと必要薬の手渡しをおこなっている。 | | |
| 75 | ○便秘の予防と対応<br><br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 水分補給。運動の取り組み。排便チェック。 | | |
| 76 | ○口腔内の清潔保持<br><br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 毎食後に実施。自分でできない人は職員が介助。 | ○ | 歯科定期健診の実施。（個別に家族付き添いで実施されている人もいるが） |
| 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br><br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 摂取量に注意し、肥満にならないように努めている。必要な人には水分摂取量のチェック。体重測定は原則として、週に１回。必要時には適時。飲み込みに問題のある人には「とろみ」をつける。メニューは当番が決めている。 | ○ | 献立検討会の実施。 |

| 項　　目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|
| 78 | ○感染症予防<br><br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、ＭＲＳＡ、ノロウイルス等） | 外出後の手洗い、うがいの実施。皮膚の観察。来訪者には玄関での手指消毒、必要者にはマスクの着用。毎年、インフルエンザ予防接種を、入居者・職員ともに受けている。手洗いの励行。 | ○ | カロリー計算など献立のチェックができればよい。 |
| 79 | ○食材の管理<br><br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 行っている。毎日の掃除、布巾・まな板は毎日消毒。賞味期限の確認。特に刺身などの生鮮食品は食べる直前に購入するようにしている。 | | |
| **2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり**<br>(1) 居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br><br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 格子戸の玄関はとても良いと思う。玄関先や沿道の植栽で季節感を出している。 | | |
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br><br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 掃除の徹底により清潔感がある。季節の行事に沿った飾りつけの工夫もある。共用の空間の装飾に工夫をこらしている。リビングでは花が飾られ、いろんなジャンルのＢＧＭを利用者の嗜好に合わせて流している。 | | |
| 82 | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br><br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | テーブルの着座順・配置に配慮している。食堂横には和室もあり、それぞれ思い思いの場所でのんびりと過ごしている。 | ○ | 共用の空間にしても個人の部屋にしても、利用者にとって居心地がよくくつろげる場所づくりをしていく。 |

| 項　　目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|
| 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br><br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室内は在宅で使っていた家具等を置くなど、本人・家族の希望通りになっている。家族写真や施設行事写真を掲示している。収納庫内の整理ができない人には、職員が介助して行っている。 | | |
| 84 | ○換気・空調の配慮<br><br>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 室温計で温度チェックし、エアコン調整している。窓の開放。換気扇で換気している。また、利用者に快・不快を尋ね適温・適湿を確保するようにしている。 | | |
| （2）本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 85 | ○身体機能を活かした安全な環境づくり<br><br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | バリヤフリーに配慮している。廊下、階段、トイレ、浴室などに手すり・滑り止めを設置し、転倒防止などの対策を講じている。危険箇所を見つけたら、すぐに対処するようにしている。移動スペースには障害になるような物を置かないようにしている。 | | |
| 86 | ○わかる力を活かした環境づくり<br><br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | 分かることが少なくなっている人も増えつつあるので、その都度、話し合い一緒に行うことで、混乱・失敗を防ぐよう援助しいる。時間がかかっても傾聴し、説明するよう努力している。職員は情報を共有し有効な手段が講じられるよう追究している。 | | |
| 87 | ○建物の外周りや空間の活用<br><br>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | 屋上緑化（芝生・フラワーポット）、庭や沿道の植栽・花壇で、緑や花を楽しむ。中庭に面して大きな窓があり、採光や緑を楽しめるようになっている。 | ○ | |

（　　部分は外部評価との共通評価項目です　）

## Ｖ．サービスの成果に関する項目

| 項　　目 | | 取り組みの成果<br>（該当する箇所を○印で囲むこと） | |
|---|---|---|---|
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ○ | ①ほぼ全ての利用者の<br>②利用者の２/３くらいの<br>③利用者の１/３くらいの<br>④ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある<br>②数日に１回程度ある<br>③たまにある<br>④ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の２/３くらいが<br>③利用者の１/３くらいが<br>④ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の２/３くらいが<br>③利用者の１/３くらいが<br>④ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の２/３くらいが<br>③利用者の１/３くらいが<br>④ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の２/３くらいが<br>③利用者の１/３くらいが<br>④ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の２/３くらいが<br>③利用者の１/３くらいが<br>④ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている | ○ | ①ほぼ全ての家族と<br>②家族の２/３くらいと<br>③家族の１/３くらいと<br>④ほとんどできていない |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ | ①ほぼ毎日のように<br>②数日に1回程度<br>③たまに<br>④ほとんどない |

| 項　　目 | | 取　り　組　み　の　成　果<br>（該当する箇所を○印で囲むこと） | |
|---|---|---|---|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | ①大いに増えている<br>②少しずつ増えている<br>③あまり増えていない<br>④全くいない |
| 98 | 職員は、活き活きと働けている | ○ | ①ほぼ全ての職員が<br>②職員の２/３くらいが<br>③職員の１/３くらいが<br>④ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の２/３くらいが<br>③利用者の１/３くらいが<br>④ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての家族等が<br>②家族等の２/３くらいが<br>③家族等の１/３くらいが<br>④ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

医療連携体制の充実（看護職員の複数採用）。手作りの食事、それを担う職員と利用者の共同作業の実践。利用者のペースに合わせたゆったりとした介護。勉強会・研修の充実。設問が多すぎるし類似した質問も見られるので工夫して欲しい。